

# ユネスコスクール便り

平成30年6月11日  
大牟田市ユネスコスクール  
担当者通信 No.65



大牟田市の全市立小・中・特別支援学校は  
全校、ユネスコスクールに加盟しています！

## 大牟田市立橋中学校の実践

### ユネスコスクール全国大会 & ユネスコスクール間交流を通して

昨年12月、大牟田市で開催されたユネスコスクール全国大会において、福祉に関わる公開授業を行いました。授業では、国連ハビタットの方をGTとして迎え、国内のユネスコスクール(静岡県伊豆市立天城中学校 福井県勝山市立勝山中部中学校、愛媛県新居浜市立北部中学校)等と交流した内容を紹介し、少子高齢化の問題が、本市のみならず、わが国の様々な地域が抱える普遍的な課題であることを発信しました。

また、防災に関する様々な学習を通して、地域の方々のご協力のもと、生徒会が被災地支援の募金活動を行い、ユネスコスクールである熊本県宇城市立不知火中学校へ支援金を届けました。今後も、不知火中学校とは、交流を続けていく予定です。

さらに、世界遺産学習では、京都で日本を訪れている外国の方々に英語で大牟田をPRするとともに、名産品を贈りました。後日、謝意を表すメールを戴きました。



## 教えて！大牟田のESD

その2

この数年、多くの先生方が大牟田市に採用されています。そこで、ESDの基本的なことについて、再度、確認しましょう。シリーズでお送りしています。

### Q2 ESDとは、何ですか？

ESDは、Education for Sustainable Development の略で、「持続可能な開発のための教育」と訳されています。環境、貧困、人権、開発などの様々な地球規模の課題について、自分のこととしてとらえ、その解決に向けて自分から行動を起こす力を身につけるための教育です。ESDの考え方は学習指導要領で示されている「生きる力」という理念に通ずるもので、グローバル人材の育成にも資する重要なものです。

## ユネスコスクールのまちおおむた

「ユネスコスクールのまち おおむた」。国内のESD、ユネスコスクール関係者の間では、大牟田市はこう呼ばれています。市内の全市立学校がユネスコスクールに加盟しており、このことは大変珍しいことです。今回は、市全体としての組織や特徴的なものをいくつか紹介します。

### 大牟田市ESD推進本部

平成28年1月、市政におけるESDの推進のため、市役所内に設置され、市長が本部長、教育長が副本部長、各部局長が本部員となり、各部局がESDの視点を取り入れて事業を展開しています。

### 大牟田市ESD推進協議会

平成29年9月、持続可能な社会の実現をめざし、よりよい社会づくりに貢献する人を育てるとともに、人と人、人と自然、文化、社会などとのつながりを深め、未来につながる活動を幅広く推進し、地域の発展に寄与することを目的として設立されました。個人や地域団体、民間団体によるこの団体の設立により、学校と行政、市民が一体となってESDを推進することができるようになりました。

### 大牟田市ユネスコスクールの日・ユネスコスクール宣言

大牟田市の全ての市立学校は、平成24年1月17日をもってユネスコスクールに加盟しました。このことを記念して、1月17日を「大牟田市ユネスコスクールの日」と制定(平成29年1月)し、制定宣言を行いました。

### ユネスコスクール支援センター

平成26年9月に、大牟田市教育研究所内に置かれ、様々なESD関係の資料等があります。学校のESDをサポートする事務局員を配置しています。

### 大牟田ESDコンソーシアム

大牟田市教育委員会が中心となり、企業等の協力を得つつ、ESDの推進拠点であるユネスコスクールとともにコンソーシアムを形成しています。国内外の学校との交流推進、コンソーシアムメンバー間の連携強化、社会教育施設等との連携強化、学校等へのESDの普及及び推進などを行っています。